



エネルギーと環境の調和を目指して

CIS太陽電池国富工場および国富工場メガソーラー
(写真提供:ソーラーフロンティア株式会社)

2012年3月期
第3四半期決算概要
2012年2月7日

 千代田化工建設株式会社

1. 業績概要

単位: 億円

	11/3 3Q	12/3 3Q	前年 同期比	伸び率	従来予想	進捗率
受注高	1,535	1,519	△16	△1.1%	5,500	27.6%
完成工事高	1,843	1,726	△117	△6.4%	2,500	69.0%
営業利益	129	159	+30	+23.4%	110	144.7%
経常利益	107	159	+52	+48.8%	120	132.1%
当期純利益	54	86	+32	+59.3%	80	108.1%
包括利益	47	70	+24	+50.7%		
為替レート	81円/\$	78円/\$			75円/\$	

いずれの利益項目も従来を通期予想を上回る状況。

1月31日に通期予想の修正を発表。（次スライド参照）

2. 通期修正予想

単位: 億円

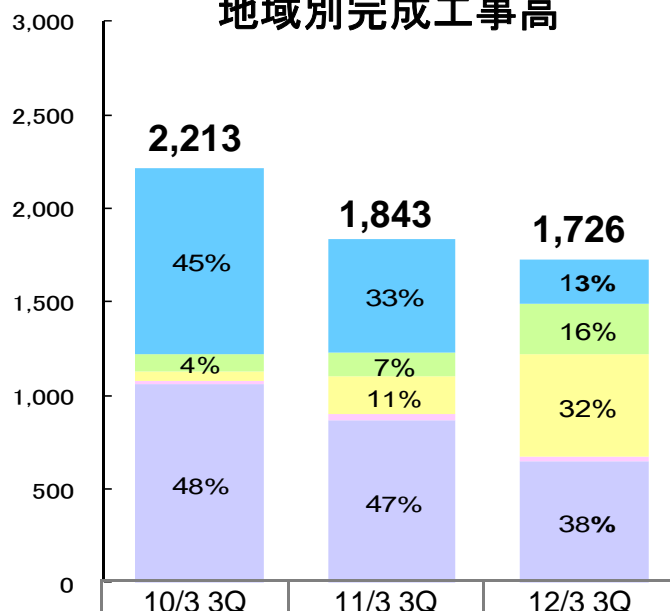
	12/3 3Q (A)	従来予想 (B)	修正予想 (C)	修正予想 進捗率 (A/C)	修正増減 (D=C - B)	増加率 (D/B)
受注高	1,519	5,500	5,500	27.6%	—	—
完成工事高	1,726	2,500	2,600	66.4%	100	4.0%
営業利益	159	110	210	75.8%	100	90.9%
経常利益	159	120	210	75.5%	90	75.0%
当期純利益	86	80	110	78.6%	30	37.5%
1株当たり 配当金		10円	13円		3円	30.0%

受注目標・為替レート（75円/\$）：変更せず。（1月13日に大型案件受注を公表済。）
 完成工事高：3Q進捗は下回ってみえるものの、今後順調に進捗すると予想、上方修正。
 利益項目：国内・海外の既完成工事の保証期間中のコスト見直し等により増加。
 配当金：配当政策（配当性向30%以上）に基づき上方修正。

3. 完成工事高

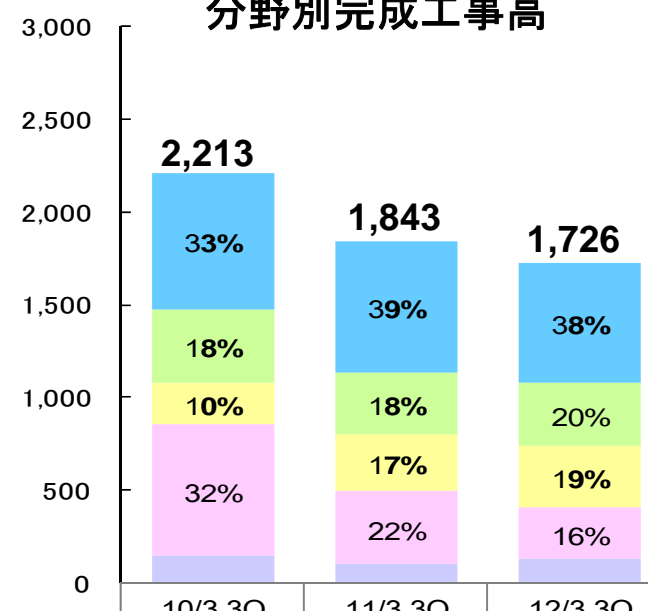
単位: 億円

地域別完成工事高



■ 中東	990	613	229
■ アジア	93	125	276
■ オセアニア	51	203	544
■ その他	15	30	23
海外 合計	1,148	972	1,073
国内 合計	1,065	871	653

分野別完成工事高



■ LNG	733	711	648
■ ガス処理*1	401	330	341
■ ファイン・インダ*ストリー*2	224	306	328
■ 石油・石油化学	705	399	282
■ 環境・その他	149	98	127

<地域別>

中東：カタールでの大型LNGプラントが前期までに全て完成。

オセアニア：パプアニューギニアLNG案件の売り上げへの寄与度増加。

<分野別>

ファイン・インダストリー：多結晶シリコン等太陽電池部材を中心として増加。

【注】 * 1 「決算短信」分類の「その他ガス・動力」 * 2 「決算短信」分類の「一般産業機械」及び「一般化学」

4. 利益関連項目

単位: 億円

	11/3 3Q	12/3 3Q	前期同期比
完成工事総利益	228 12.4%	263 15.3%	+35 +2.9pt
販売費及び一般管理費	△99	△104	△5
営業利益	129 7.0%	159 9.2%	+30 +2.2pt
営業外損益	△22	△1	+22
経常利益	107 5.8%	159 9.2%	+52 +3.4pt
特別損益・税金・少数株主利益	△52	△72	△20
当期純利益	54 2.9%	86 5.0%	+32 +2.1pt

国内・海外の既完成工事の保証期間中のコスト見直し、国内外の手持ち案件の利益率改善により増加。

税制改正及び復興財源確保法成立による繰延税金資産取崩しの影響額は13億円。

5. バランスシート

単位: 億円

	11/3末	11/12末	増減
【流動資産】	3,162	2,951	△211
現金及び預金等 * 1	1,307	1,615	+308
営業資産三勘定 * 2	687	566	△121
JV持分資産 * 3	887	553	△334
その他	282	217	△65
【固定資産】	372	442	+70
有形固定資産	190	193	+2
無形固定資産	47	45	△3
投資等	134	204	+70
【資産】	3,534	3,393	△141

	11/3末	11/12末	増減
【流動負債】	1,819	1,634	△185
短期借入金	-	-	-
営業負債三勘定 * 4	1,600	1,494	△106
工事損失引当金	11	10	△1
その他	208	130	△78
【固定負債】	157	160	+2
長期借入金	102	102	△0
その他	55	58	+2
【純資産】	1,558	1,599	+41
【負債・純資産】	3,534	3,393	△141
【自己資本】	1,552	1,593	+41
【自己資本比率】	43.9%	47.0%	+3.1pt

【注】

- * 1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券
- * 2 営業資産三勘定＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金
- * 3 JV持分資産:ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
- * 4 営業負債三勘定＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

＜資産＞

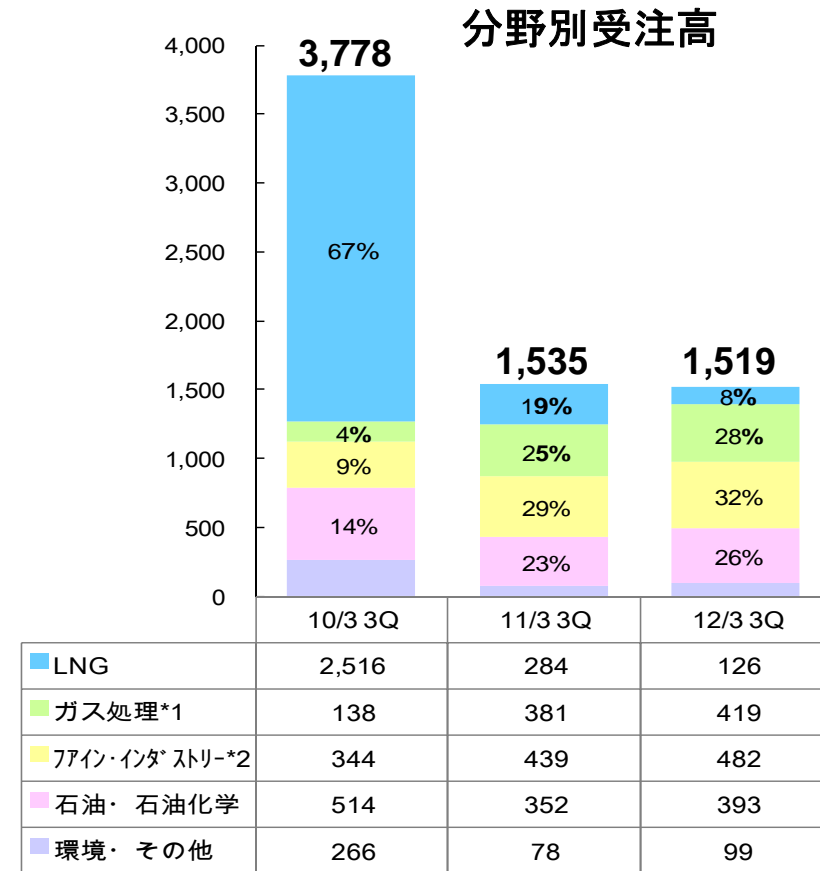
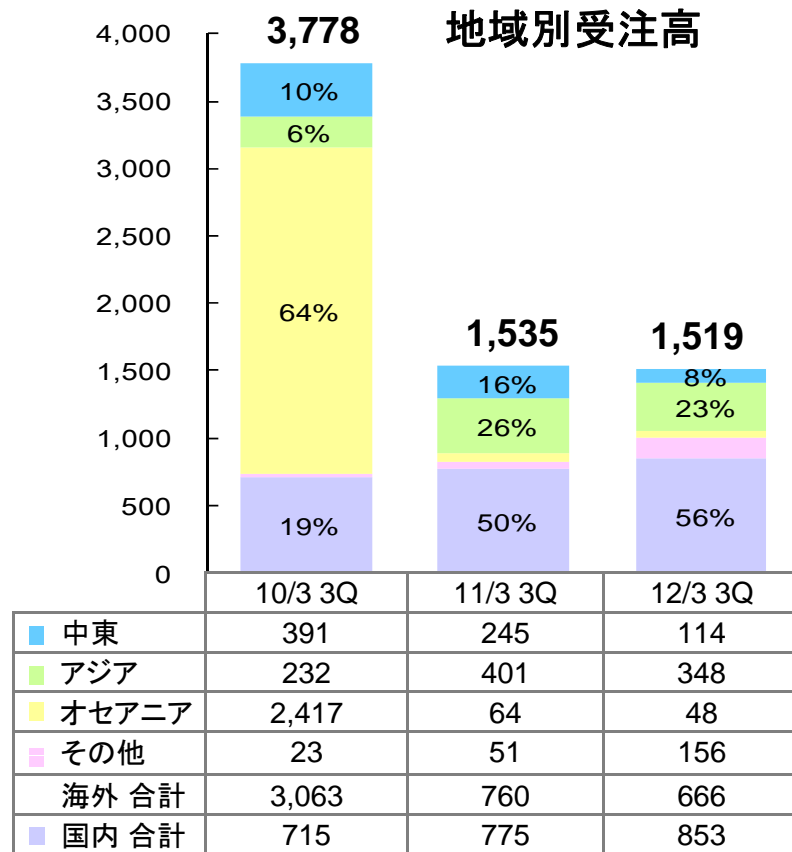
CTCI社の株式購入等により投資等が増加。

＜純資産＞

当期純利益86億円計上の一方、配当の実施、株式市況の低迷による評価差損の計上などから41億円の増加に留まる。

6. 受注高

単位: 億円



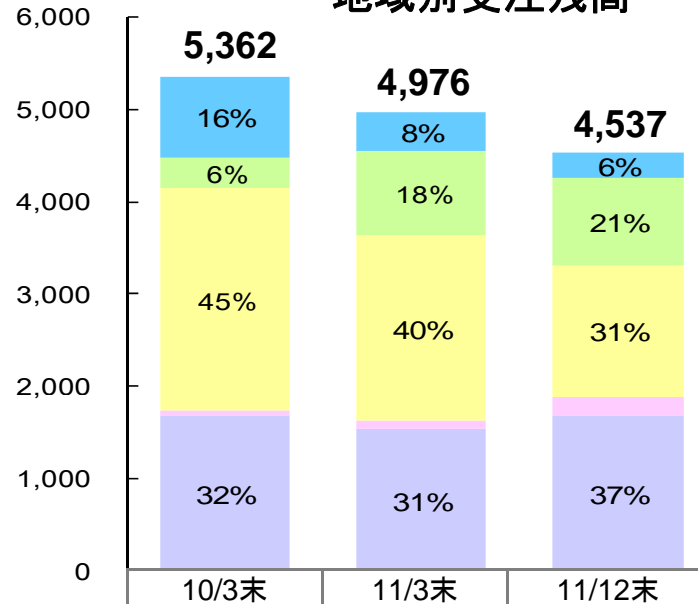
オーストラリア イクシスLNG案件は1月（4Q）に受注。
 通期目標額5500億円の達成に向けて引き続き営業活動を推進。

【注】 * 1 「決算短信」分類の「その他ガス・動力」 * 2 「決算短信」分類の「一般産業機械」及び「一般化学」

7. 受注残高

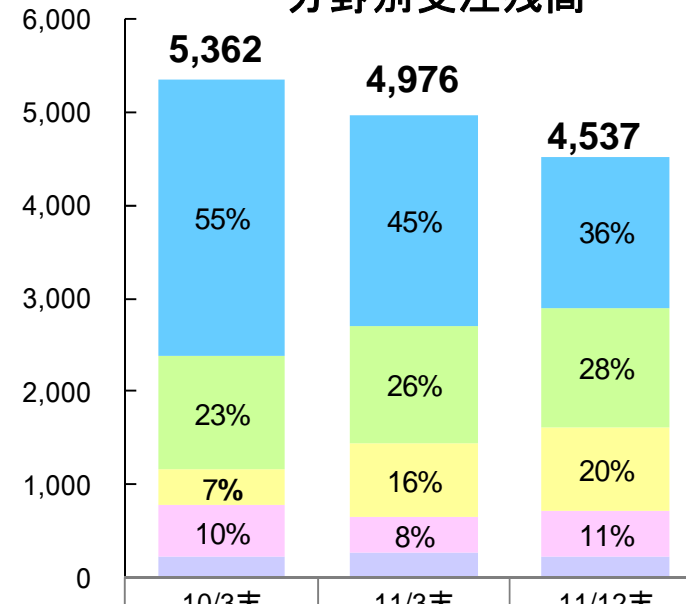
単位: 億円

地域別受注残高



地域	10/3末	11/3末	11/12末
■ 中東	883	421	279
■ アジア	329	916	941
■ オセアニア	2,403	2,013	1,422
■ その他	54	83	212
海外 合計	3,669	3,433	2,854
■ 国内 合計	1,692	1,544	1,683

分野別受注残高



分野	10/3末	11/3末	11/12末
■ LNG	2,963	2,256	1,622
■ ガス処理*1	1,231	1,270	1,284
■ ファイン・インダストリー*2	384	784	906
■ 石油・石油化学	557	391	486
■ 環境・その他	227	275	238

<地域別>

オセアニア：パプアニューギニア 大型LNG案件を含む。

アジア：マレーシア トクヤマ殿向け多結晶シリコンプラント建設工事を含む。

【注】 * 1 「決算短信」分類の「その他ガス・動力」

* 2 「決算短信」分類の「一般産業機械」及び「一般化学」

参考資料

2012年3月期 通期業績予想の内訳

添付①

単位：億円

	11/3 実績	12/3 修正予想	前期比
受注高	2,353	5,500	+3,147
海外	1,286	4,400	+3,114
国内	1,066	1,100	+34
完成工事高	2,471	2,600	+129
海外	1,261	1,570	+309
国内	1,210	1,030	△180
完成工事総利益	315	360	+45
販売費及び一般管理費	△140	△150	△10
営業利益	175	210	+35
営業外損益	△18	0	+18
経常利益	157	210	+53
特別損益・税金・少数株主利益	△78	△100	△22
当期純利益	80	110	+30

経営指標

添付②

	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3 修正予想
完成工事総利益率(%)	3.4	4.3	4.5	12.8	13.8
完成工事高販管費率(%)	1.9	2.7	4.0	5.7	5.8
完成工事高営業利益率(%)	1.5	1.6	0.5	7.1	8.1
完成工事高経常利益率(%)	3.2	2.6	1.5	6.4	8.1
完成工事高当期純利益率(%)	1.6	1.5	0.9	3.2	4.2
総資産経常利益率<ROA>(%)	4.7	3.1	1.4	4.6	
自己資本当期純利益率<ROE>(%)	12.2	5.7	2.0	5.3	
一株当たり当期純利益<EPS>(円)	50.15	25.58	11.39	30.79	
一株当たり純資産<BPS>(円)	422.44	561.12	573.61	599.15	
自己資本比率(%)	21.4	40.7	45.3	43.9	
流動比率(%)	115.0	161.1	175.2	173.8	
固定比率(%)	50.0	25.4	25.2	24.0	
負債純資産倍率<DER>(倍)	0.12	0.07	0.07	0.07	

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

IR・広報室長 中山 直行

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

URL <https://ssl.chiyoda-corp.com/contact/index.php>

この資料には、2012年2月7日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。